

大学生×企業×熊本市西区＝地域活性化

ワークショップ「^{ひごのくに}1592-^{にしく}249ソン」を 11月17日（日）に開催

熊本学園大学経済学部の境章（さかい あきら）研究室は、熊本市西区と協力し、地域活性化に向けたアイデア創出を行う「1592（ひごのくに）-249（にしく）ソン」を11月17日（日）に開催します。

これは、本学と熊本市の包括的連携協定に基づくもので、人口減少・高齢化や耕作放棄地などに悩む同区の依頼を受け、学生が地元企業、自治体関係者とともに、地域の継続的な発展のために何をすべきかをワークショップ形式で考えるものです。西区とは、昨年11月にも同様のワークショップを開催し、その後は同区の史跡「池辺寺跡」を映像で紹介するコンテンツの制作や、特産品のネーブルを使った加工食品の企画などにゼミ生らと取り組んできました。

今回の「1592（ひごのくに）-249（にしく）ソン」の名称は、さまざまな立場の参加者が集まり、純粋で正義感が強い「肥後もっこすの力添え（アイデア・技術・データ）」で、「熊本市西区」の課題解決をめざし、アイデアを出しあい“続けて”まとめていく「アイデアソン（アイデア+マラソン）」をかけたもの。“地域でできること”“企業や自治体、学生ができること”といった人的資産・情報資産をカード化し、それらをかけ合わせてアイデアを練るゲーム形式で行います。

情報科学を専門とする境教授の研究室では、オープンデータを活用した地域創生をテーマに活動しており、これまで熊本県内の4つの自治体（菊池市・山都町・美里町・宇城市）の課題解決を考えるワークショップを実施してきました。これらの活動は、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が実施する「アーバンデータチャレンジ（UDC）」の地域拠点に選定されています。今回、西区と行うワークショップもUDCの一環です。

よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。



「1592（ひごのくに）-249（にしく）ソン」開催概要

- 開催日 2019年11月17日（日）13:00～17:30（受付 12:30～）
- 場 所 熊本市西部公民館 会議室（熊本市西区小島2丁目7番1号）
- 参加者 学生、地元企業、自治体関係者
- 主 催 熊本学園大学経済学部 境章（さかい あきら）研究室/Code for Kumamoto
- 共 催 アーバンデータチャレンジ（UDC）
NEC ソリューションイノベータ（株）九州支社
熊本県立大学 佐藤忠文特任講師

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室

Tel 096-364-8722・Fax 096-364-6526

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>